

旭川市地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km²、人口は2020年4月1日時点で332,610人である。人口は2000年より減少に転じ、それとともに市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

人口1人あたりの年間利用回数7.5回

令和2年度事業概要

米飯地区と東旭川駅周辺間において、往路4便、復路6便(土日祝は往路3便、復路4便)の頻度でデマンド型交通の運行を行った。

地域公共交通の現況

- ・ 旭川中央交通 (株) デマンド米飯線
- ・ 旭川電気軌道 (株) 76系統
- ・ 道北バス (株) 74系統
- ・ JR北海道 (株) 4路線

協議会開催状況

令和元年6月5日

- 令和元年度 第1回旭川市地域公共交通会議
- －旭川市生活交通確保維持改善計画の承認

令和元12月26日

- 令和元年度 第2回旭川市地域公共交通会議
- －事業報告
- －1次評価の承認

令和2年6月10日

- 令和2年度 第1回旭川市地域公共交通会議
- －旭川市生活交通確保維持改善計画の承認

令和2年12月25日

- 令和2年度第3回旭川市地域公共交通会議
- －事業報告
- －1次評価の承認

令和2年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

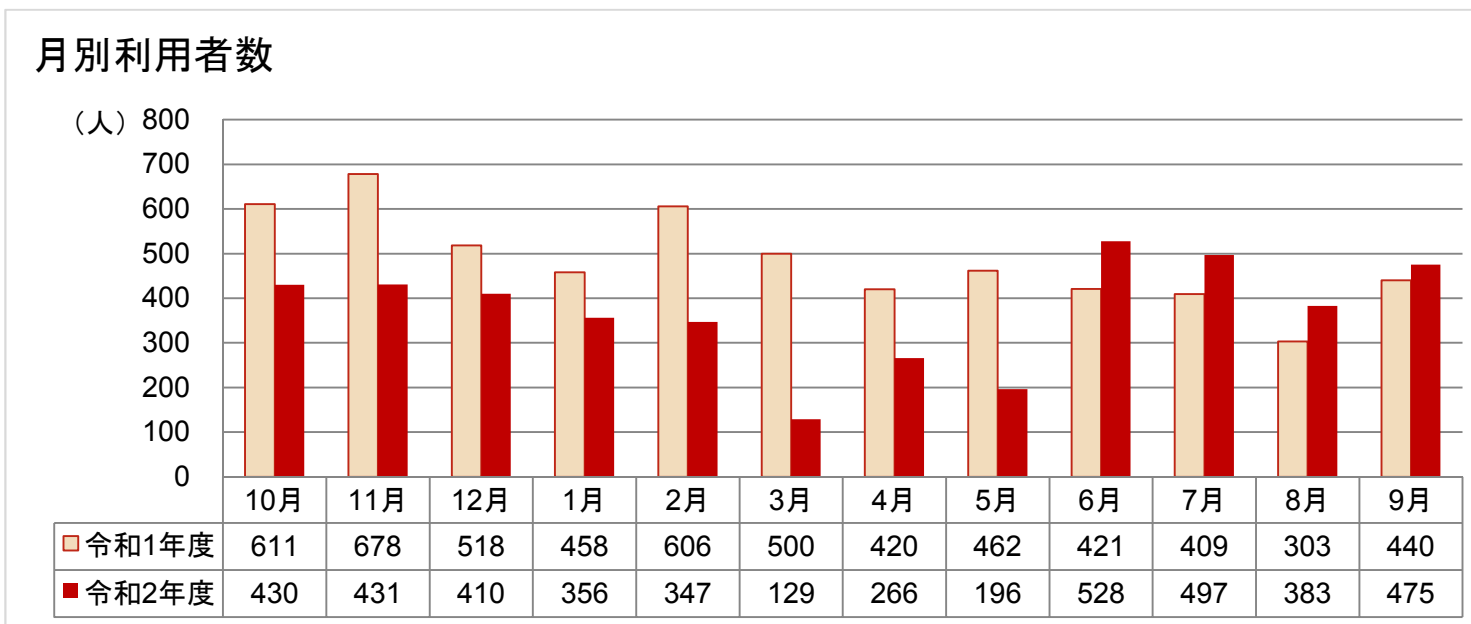
- ・予約締切後、お迎え到着時間のコールバック
- ・運行車両位置情報お知らせアプリ
- ・冬の山道でも運行に支障がないよう主として4WD車使用(ジャンボタクシー・マイクロバス)

2) 運行系統

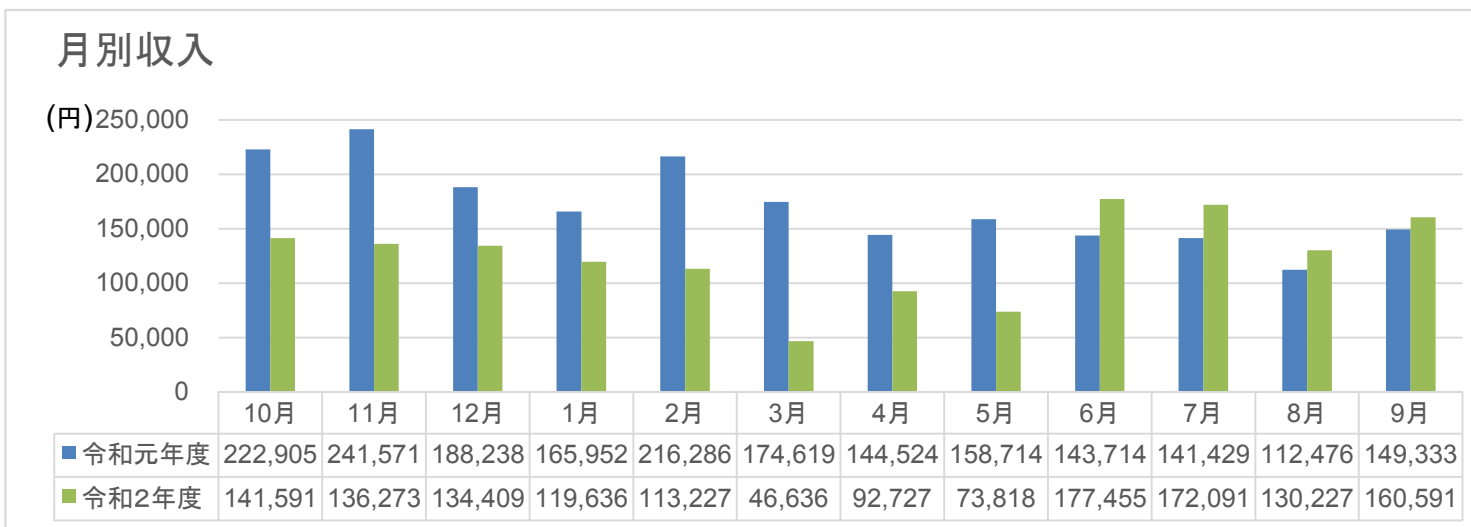
東旭川駅周辺施設～東旭川町瑞穂・米原・豊田・東桜岡～旭川21世紀の森



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画どおりの運行がなされ、適切に事業が行われた。

7) 事業の今後の改善点

アンケート、意見交換会等の取組を通じて、実際に当該路線を利用している者の移動目的、用事の時間等を把握し、実態に沿った時刻等の設定を検討し、利便性及び生産性の向上を図る。

6) 目標・効果達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標7.5回に対し、実績は5.86回にとどまった。

8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかったが、車両の位置情報を知らせるアプリの導入といった地域内フィーダー系統では先駆的な取組を行っている。引き続き地域公共交通網形成計画に基づいた利用促進策を継続することを期待する。
- ・今後も持続可能な事業となるよう、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。